



新しい学びの場の誕生

2022年9月、東北工業大学八木山キャンパスに「ひろく学び、知をつなぐ」新たな学びの場が誕生しました。キャンパス内に分散していた工学部・建築学部各学科の実験設備(装置・機器)を、新設した実験・教育棟(Tech-Lab)に集約しました。学問分野を超えた知識と人の交流を促す最先端の設備と環境を備えた施設です。見て触れて学ぶことができる生きた教材となるように工夫された建物全体、見える実験室など自由に開放的な空間構成と学生の新しい滞在の形と交流を生み出すための居場所。ここからInnovative & Imaginativeな未来が創り出されます。



Tech-Lab

愛称について

学生、教職員、卒業生を対象に建物の愛称を募集し、応募総数100点の中から「Tech-Lab(読み: てくらぼ)」に決定しました。
愛称の由来: Tech は technology や technique を表し、Lab は laboratory を表します。学生の実験・教育を通して工学的な技術(technology, technique)を身につける場であり、専門研究の入り口にもなることを期待して研究室(laboratory)としました。さらに「てくてくと…」気軽に立ち寄れる実験・教育施設をイメージしました。

愛称考案: 技術支援センター事務室
教育支援系技術職員
有田 康一さん
ロゴデザイン: ライフデザイン学部
産業デザイン学科
戸田 遥さん

建築概要

設計・監理: 株式会社佐藤総合計画
施工: 清水建設・仙建工業・阿部和工務店
建設工事共同企業体
構造種別: 鉄骨造 地上4階
建築面積: 2,195.13㎡
延床面積: 6,370.33㎡
工期: 2021年4月～2022年9月

最先端の設備と環境を備えた
全学共用の実験・教育棟

Tech-Lab

てくらぼ



お問合せ/入試広報課
TEL.022-305-3111
〒982-8577 宮城県仙台市太白区八木山香澄町35-1
E-mail nyushi@tohtech.ac.jp <https://www.tohtech.ac.jp>

 東北工業大学
TOHOKU INSTITUTE
OF TECHNOLOGY

Innovative & Imaginative



L104

水理系実験室



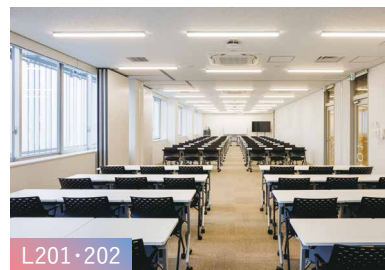
L103

材料・構造系実験室



L105

土質系実験室



L201・202

多目的教室



L314・315

電気電子・情報通信・物理系実験室



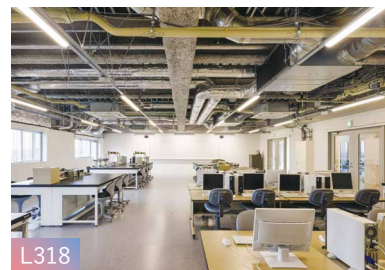
L307

プロセス室



L313

ITシステムラボラトリー



L318

電気電子・情報通信・物理系実験室



L415・416・417

水質・化学系実験室



L404

技術支援センター



L406

水質・化学系実験室(ドラフト室)



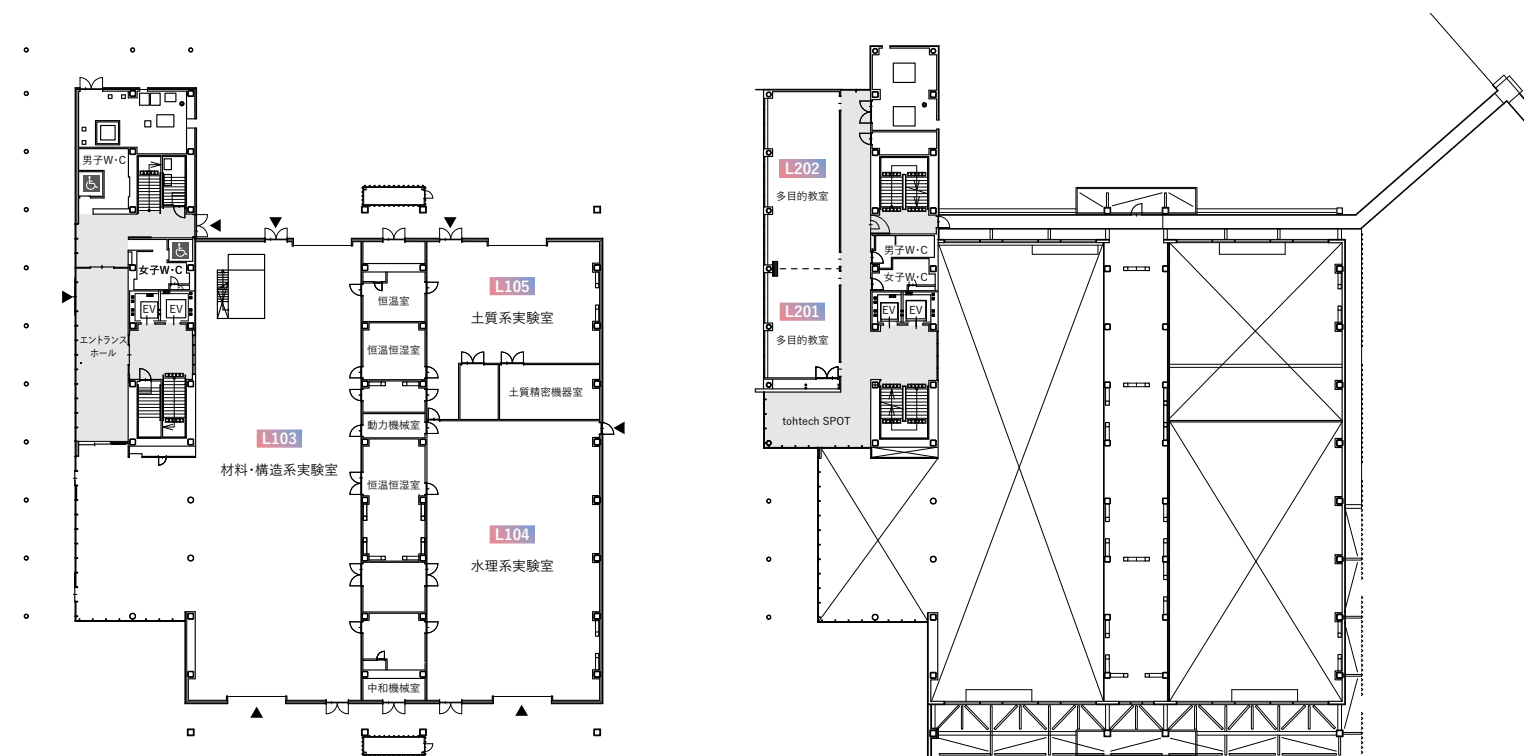
L410

機器分析室(水質系分析室)

1-2F

建築・土木系実験室を中心としたフロア

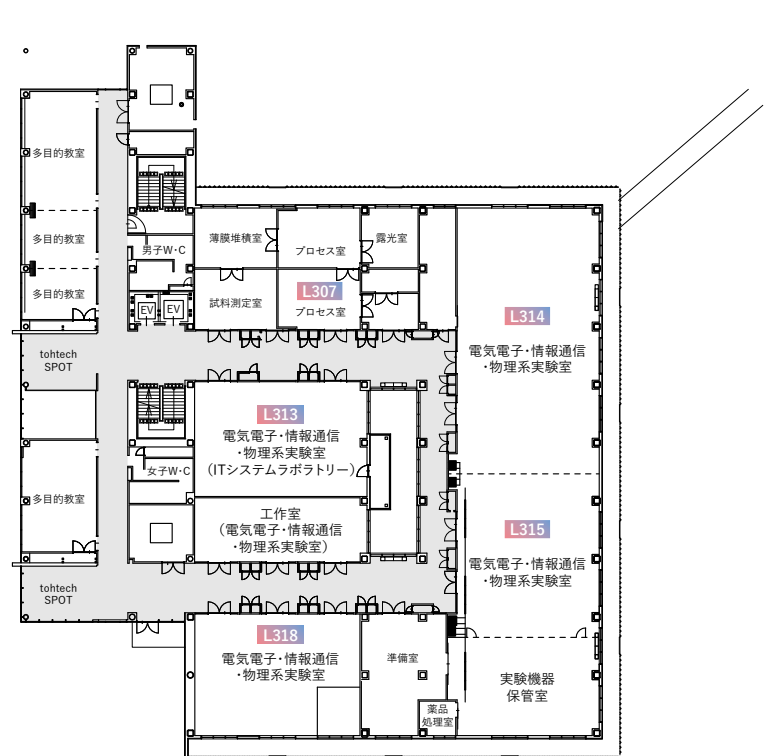
1~2層吹き抜けの大空間はガラス張りで、大型設備を使用した実験の様子が廊下や外部から「見える実験室」となっています。構造躯体や設備配管も現しになっていて、建物そのものが教材となります。建築学科の「材料実験」や、都市マネジメント学科の「水理実験」等、大型機器を使用する実験が行われます。



3F

電気電子・情報通信・物理系実験室を中心としたフロア

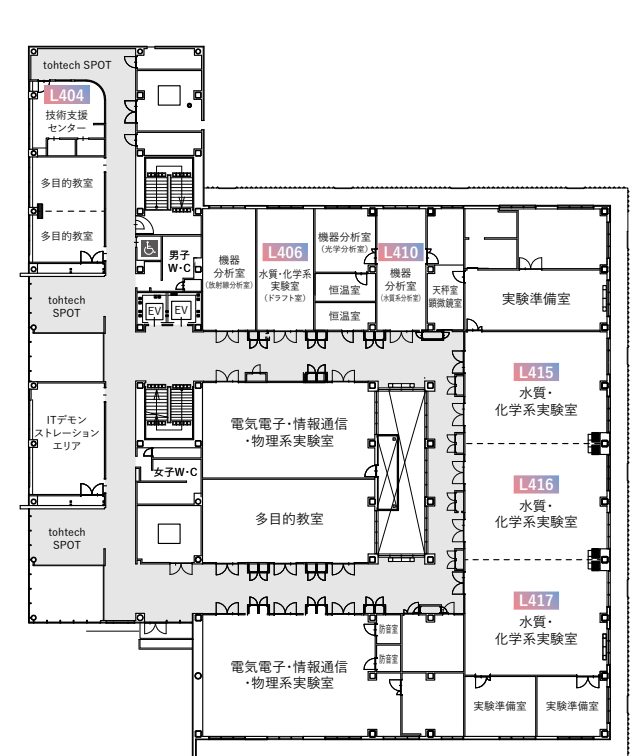
3~4名のチームを組み合わせ楽しくディスカッションしながら、最大で150名程度が一緒に電気電子・情報通信系の学生実験を行える実習室や、クリーンルームで半導体を実際に製作し評価する施設、最新のIP情報通信ネットワーク技術と光通信技術を学習・検証できる場など、実践的な知識・技術を修得できる設備を設置しています。



4F

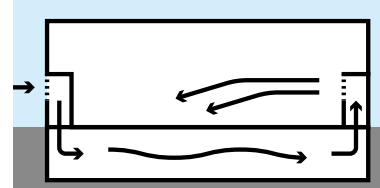
水質・化学系実験室を中心としたフロア

アーム式局所排気装置や天井排気フードを備えた実験台と広い作業スペースを確保できる実験台が整備された水質・化学系実験室は、作業ごとのエリア使い分けや分野横断的な実験・研究の実施、パーティションにより3つの実験室としての使用も可能です。主に環境応用化学科、都市マネジメント学科、電気電子工学科の3学科が使用します。



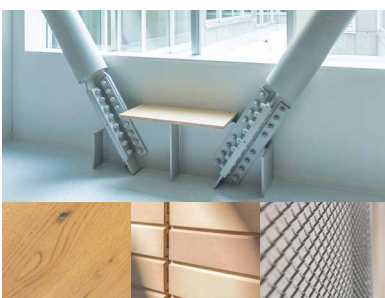
設備配管の見える化

一般的には隠されて設置される設備配管(上水・雑用水、汚水・雑排水及びその通気の配管)を「見える化」しています。



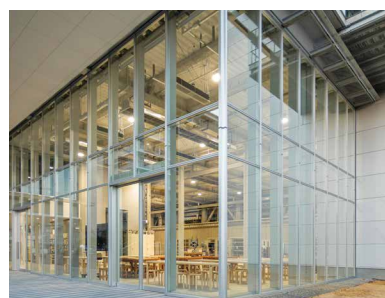
cool & warm pit

1階の実験室は空調設備の代わりに地中空間で冷やされた(冬は温められた)空気を循環させて室内の空調と換気を利用しています。



建築構造や素材の見える化

耐震のための構造ブレースの「見える化」やさまざまな建築素材に触れられる内外装により、建物そのものが生きた教材となります。



ガラスカーテンウォール

1階はガラスカーテンウォールにより屋内外から活動の様子が感じられる「見える実験室」となっていて学生の興味を引き出します。



wind catch wall

tohtech SPOT から連続して外壁化したタイル壁が自然の風をキャッチして、室内に通風を促す地形を生かした工夫があります。



tohtech SPOT

tohtech SPOT は各階に連続的に設けられた吹き抜け空間で、学生同士や学生と教員の交流を促進する「居場所」となります。